

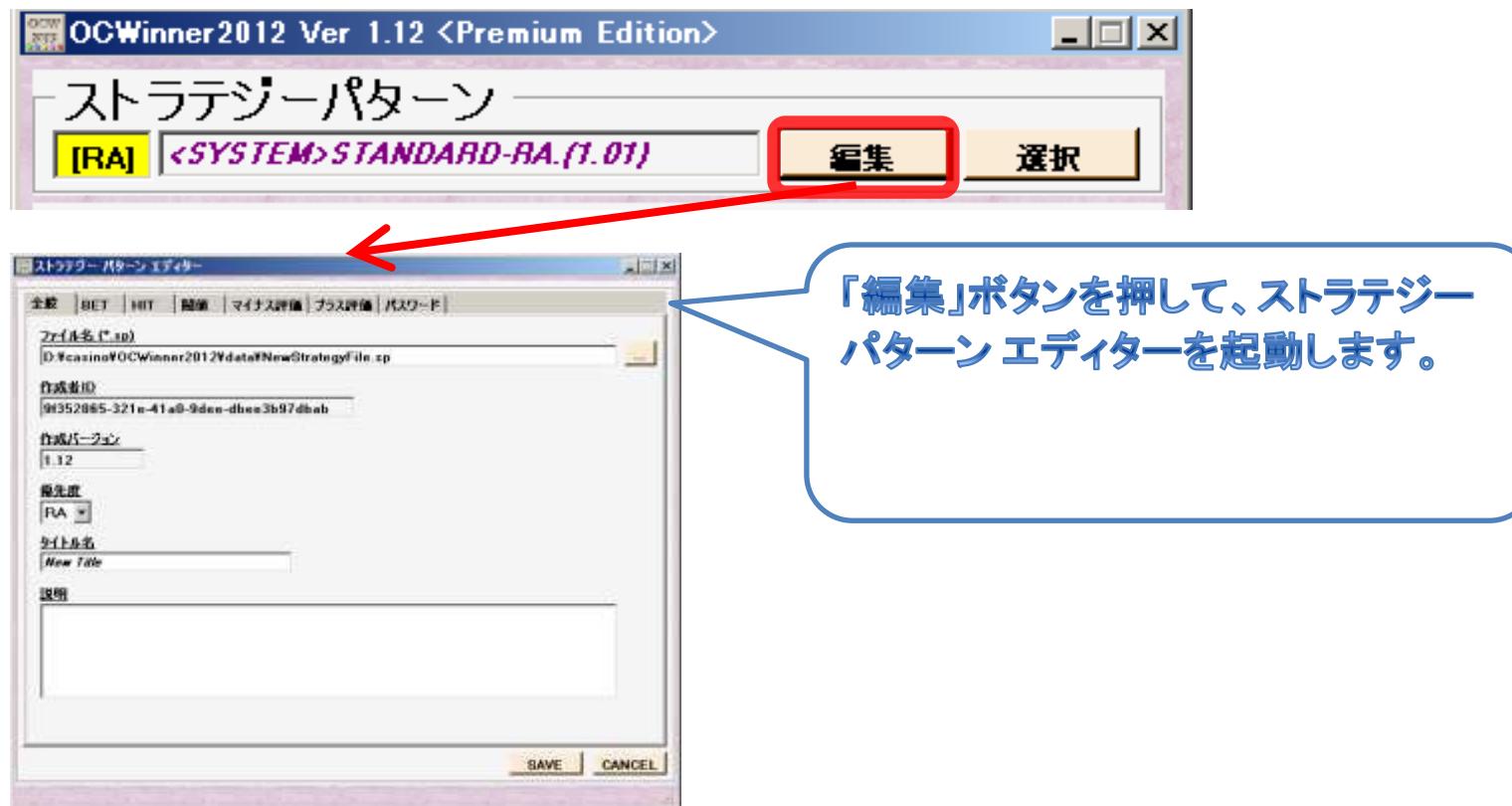
OCWinner2012 操作マニュアル(上級編)

上級者向けTIPS	… 02
1. 新規ストラテジーパターンファイルを作成する	… 02
2. 自分好みのスロット機種に合わせたストラテジーパターンを作成する	… 12
3. 自作のストラテジーパターンファイルを公開(販売)する	… 22

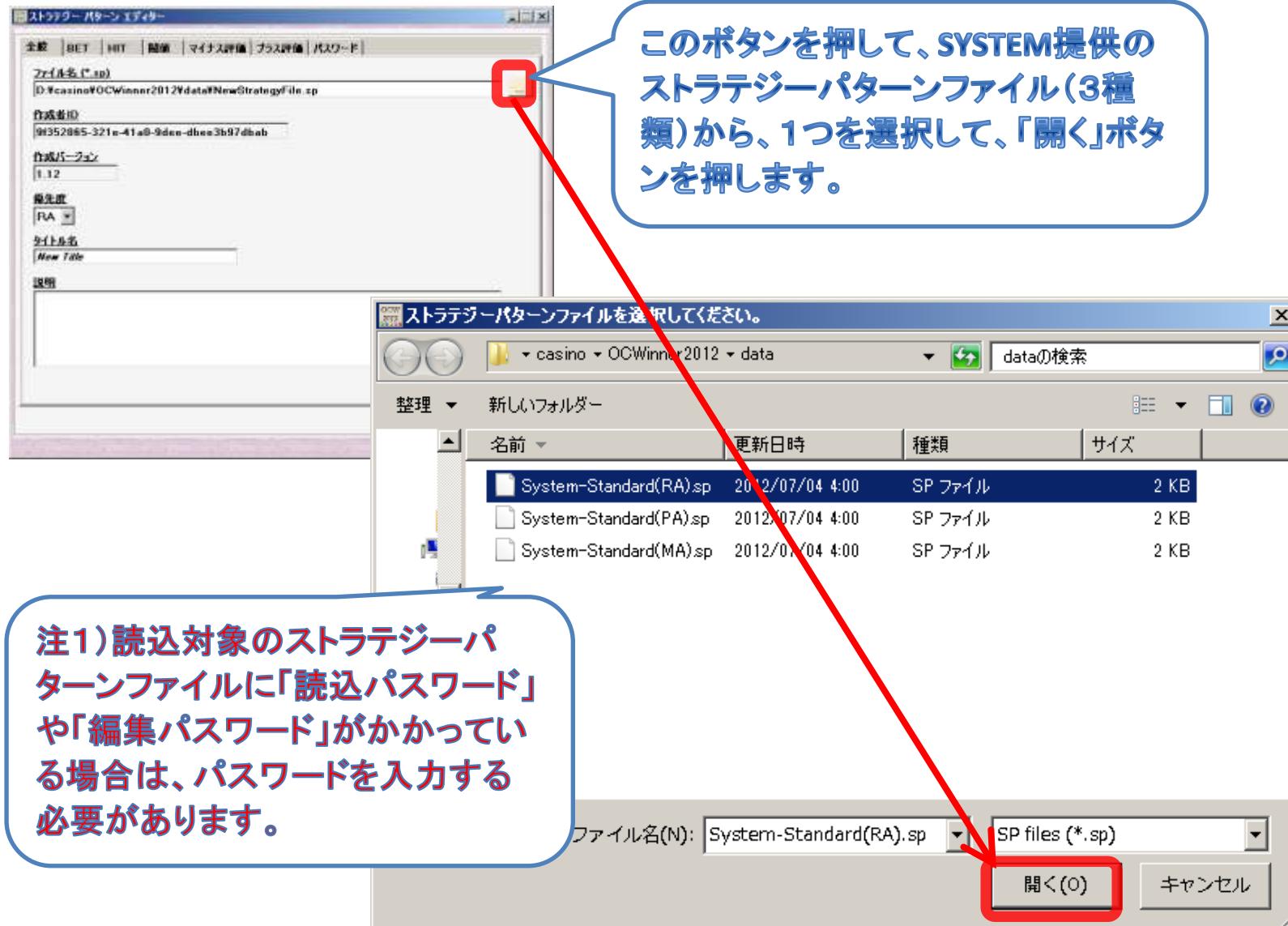
上級者向けTIPS

1. 新規ストラテジーパターンファイルを作成する

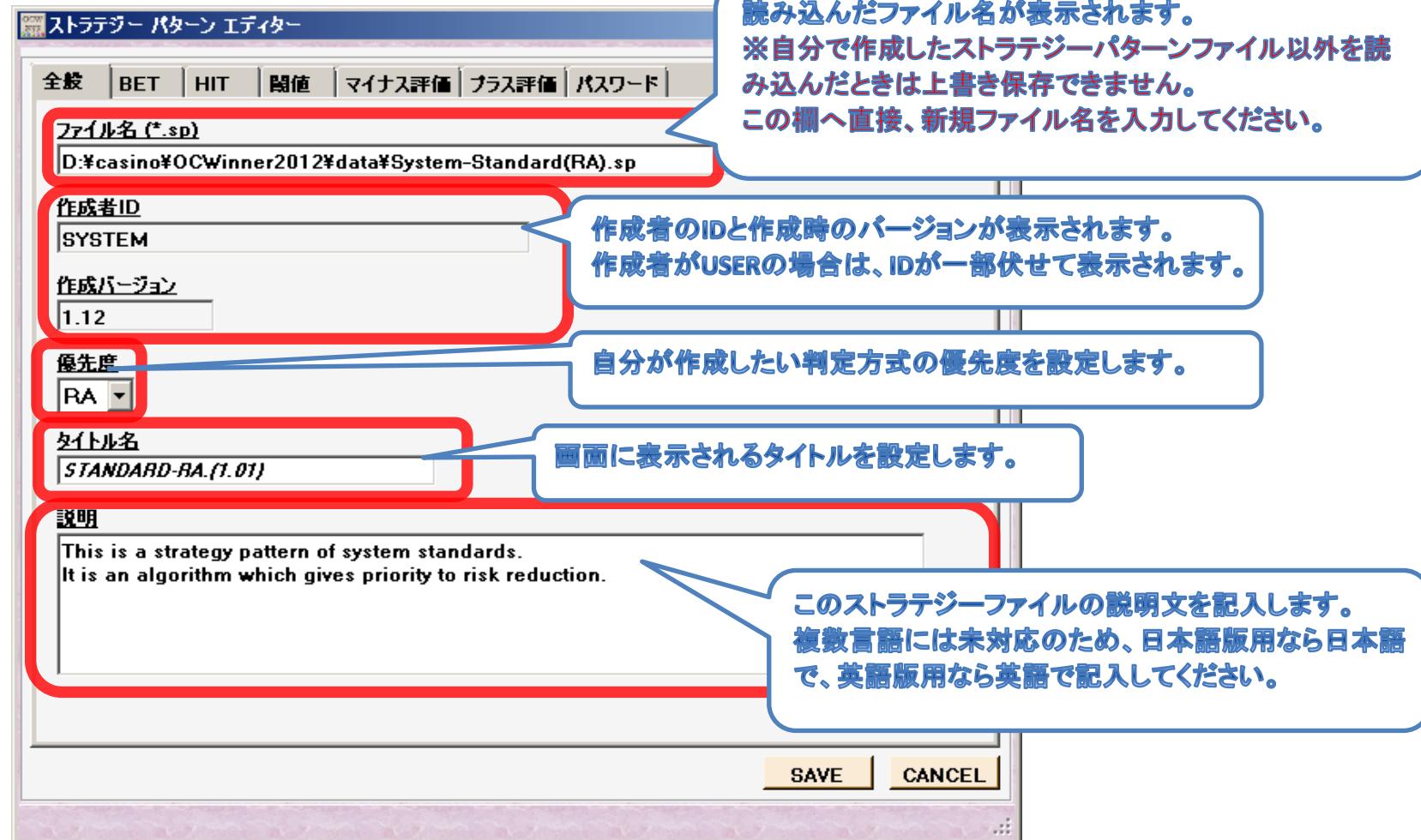
(1) SYSTEM提供のストラテジーパターンファイルをベースに
新規ストラテジーパターンファイルを作成する手順を説明します。



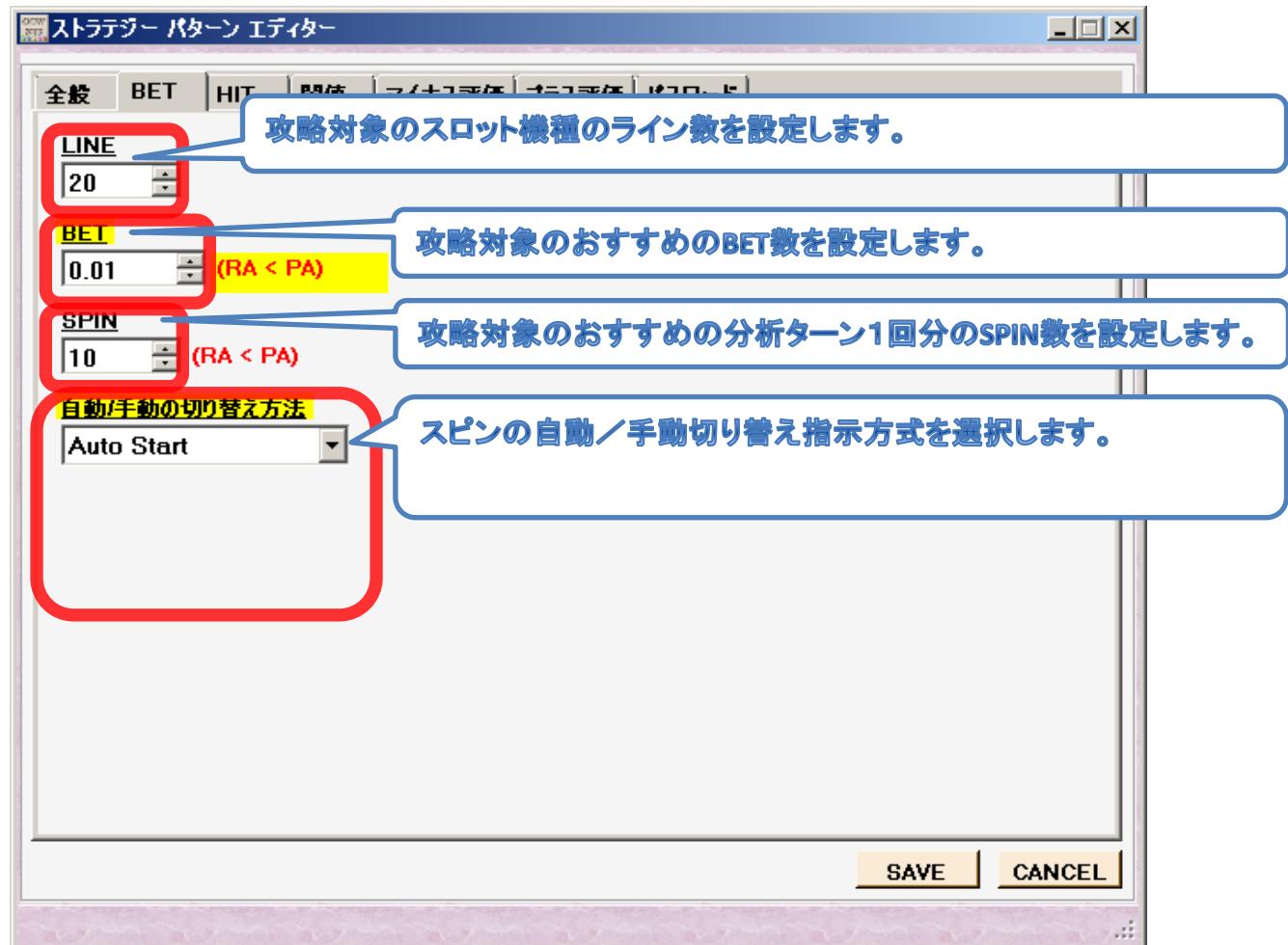
(2) 編集ベースとなるストラテジーパターンファイルを読み込む。



(3)全般タブの項目を編集する。



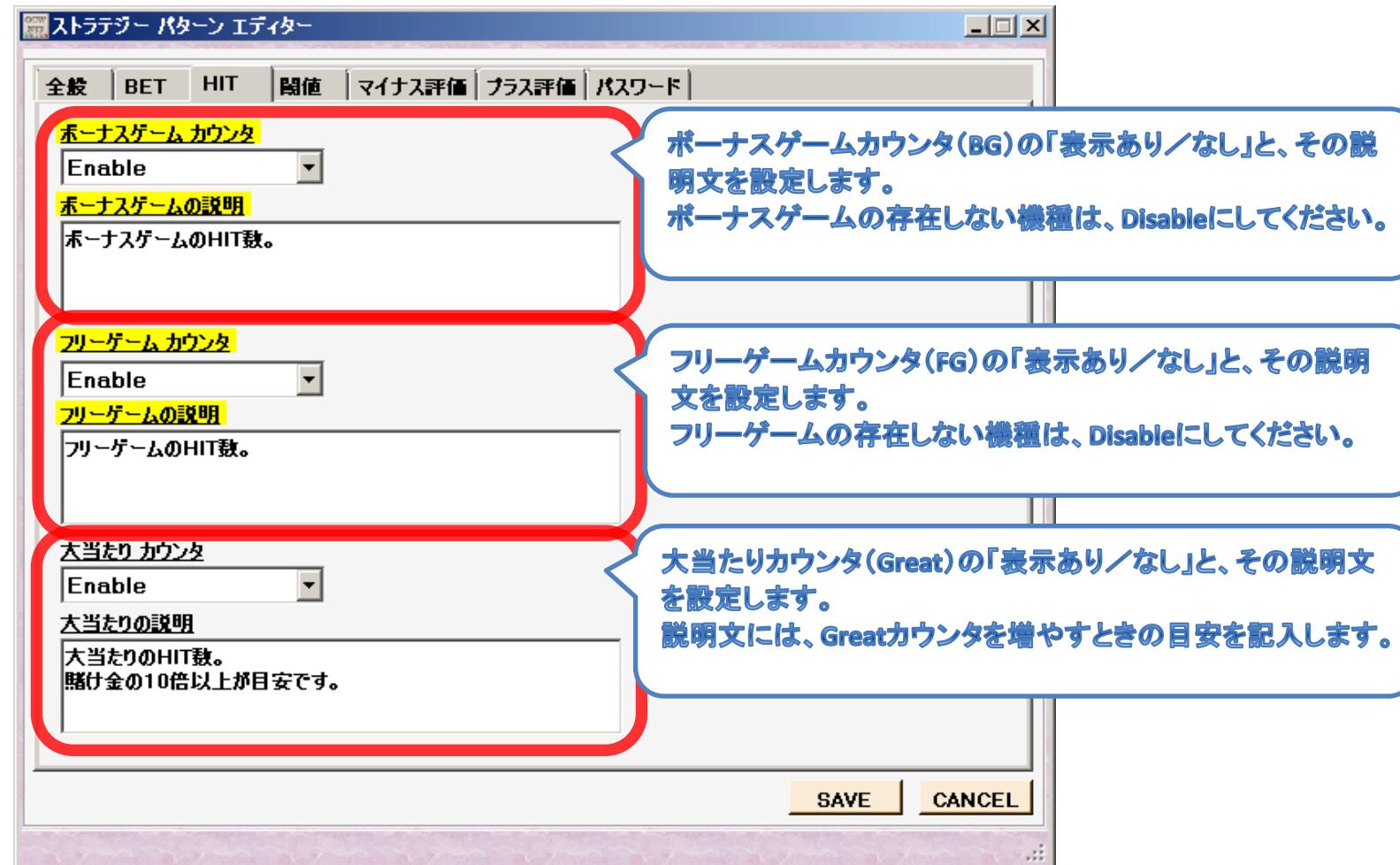
(4) BETタブの項目を編集する。



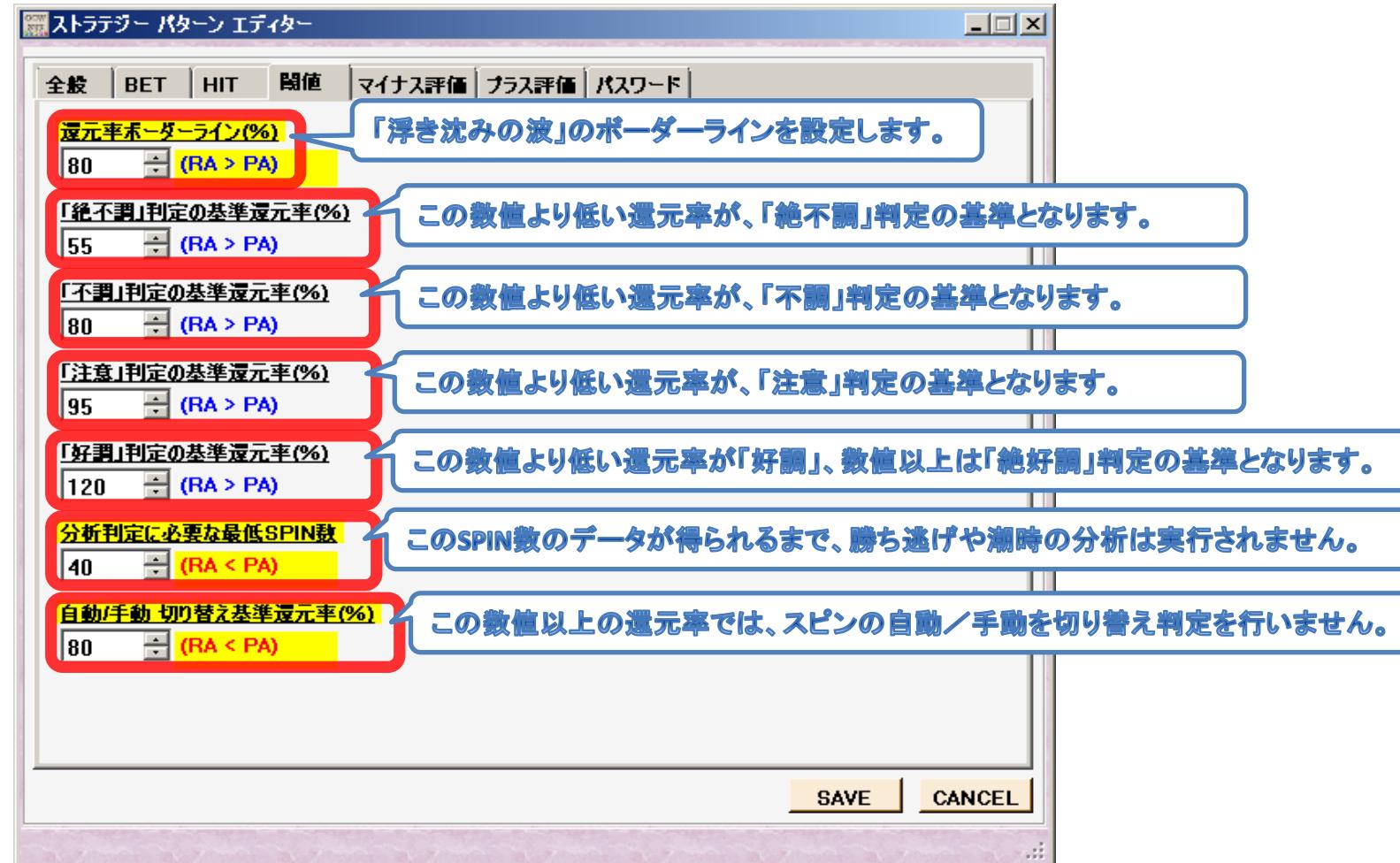
※なお、各パラメータの設定値の増減による分析優先度への影響は以下を目安としてください。

(RA > PA)	設定値が大きいほどリスク軽減を優先し、設定値が小さいほど利益拡大を優先します。
(RA < PA)	設定値が小さいほどリスク軽減を優先し、設定値が大きいほど利益拡大を優先します。

(5) HITタブの項目を編集する。



(6) 閾値タブの項目を編集する。



「浮き沈みの波」とは、胴元が定めた還元率を基準に、一定周期でペイアウトが下降→上昇を繰り返すパターンを差します。
還元率の保障を公言しているオンラインカジノは、企業の信頼度や上場基準の重要な項目となるため、この増減周期が必ず発生します。

(7)マイナス評価タブの項目を編集する。

ストラテジー パターン エディター

全般 BET HIT 閾値 **マイナス評価** プラス評価

平均賞金額の基準外発生確率のマイナス評価を重視させるなら1、評価させないなら0を設定します。

最近N回の平均還元率と、その他の要素(HIT数やスピニ数など)の相関関係をマイナス評価要因に加える場合は分析ターンの数値を、加えない場合は0を設定します。

最近N回の平均還元率A(線形回帰分析用)
1 (RA > PA)

最近N回の平均還元率B(判別分析用)
5 (RA < PA)

最近N回の平均還元率C(コレコンテンス分析用)
8 (RA < PA)

ベスト還元率の縮小率(分散分析用)
33 (RA > PA)

最近N回の還元率連続下降(多次元尺度分析用)
3 (RA < PA)

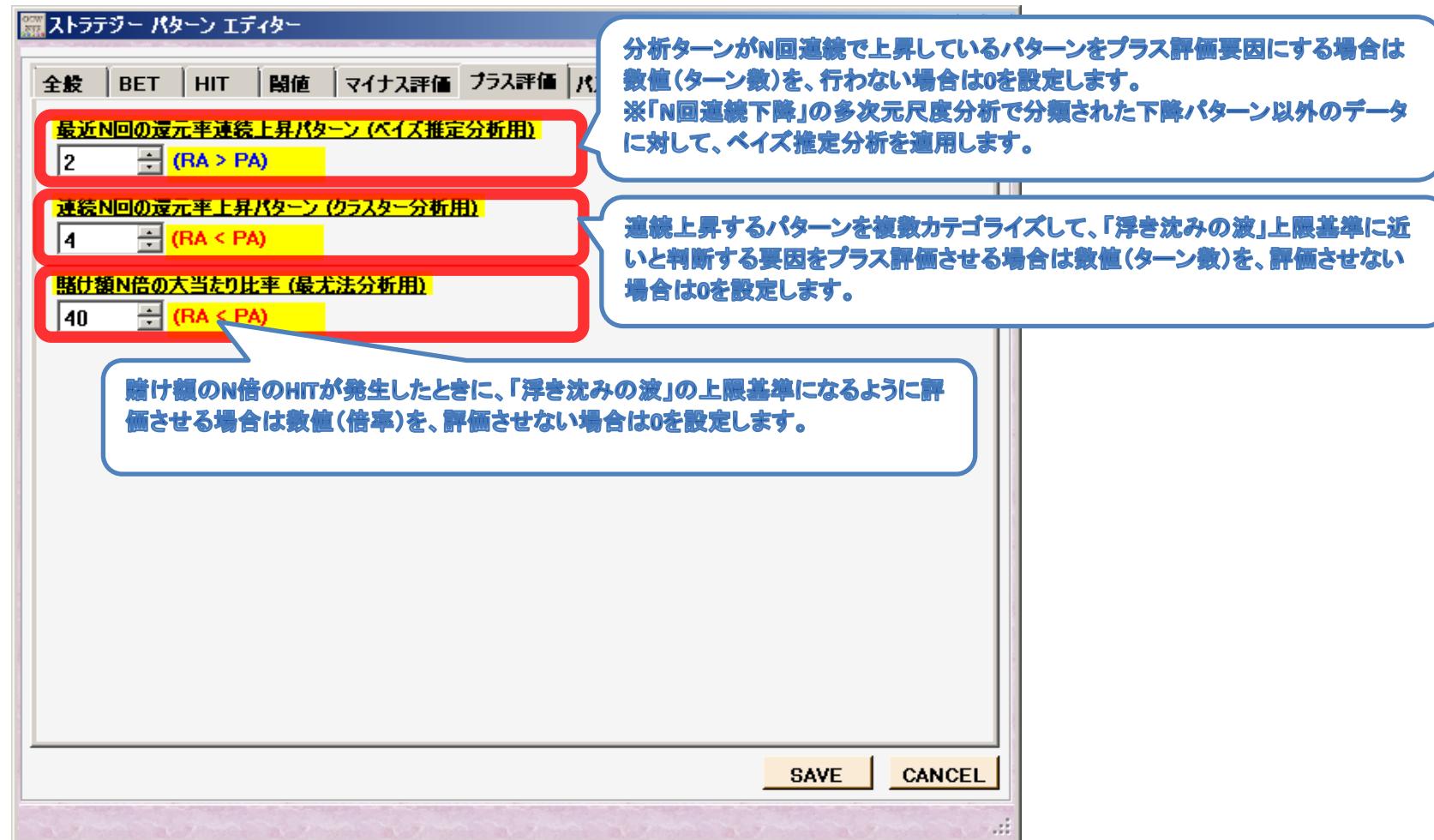
平均HIT SPIN数の許容値(ブロックランダム化分析用)
0 (RA < PA)

最悪値連続発生数の許容値(一元配置分散分析用)
3 (RA < PA)

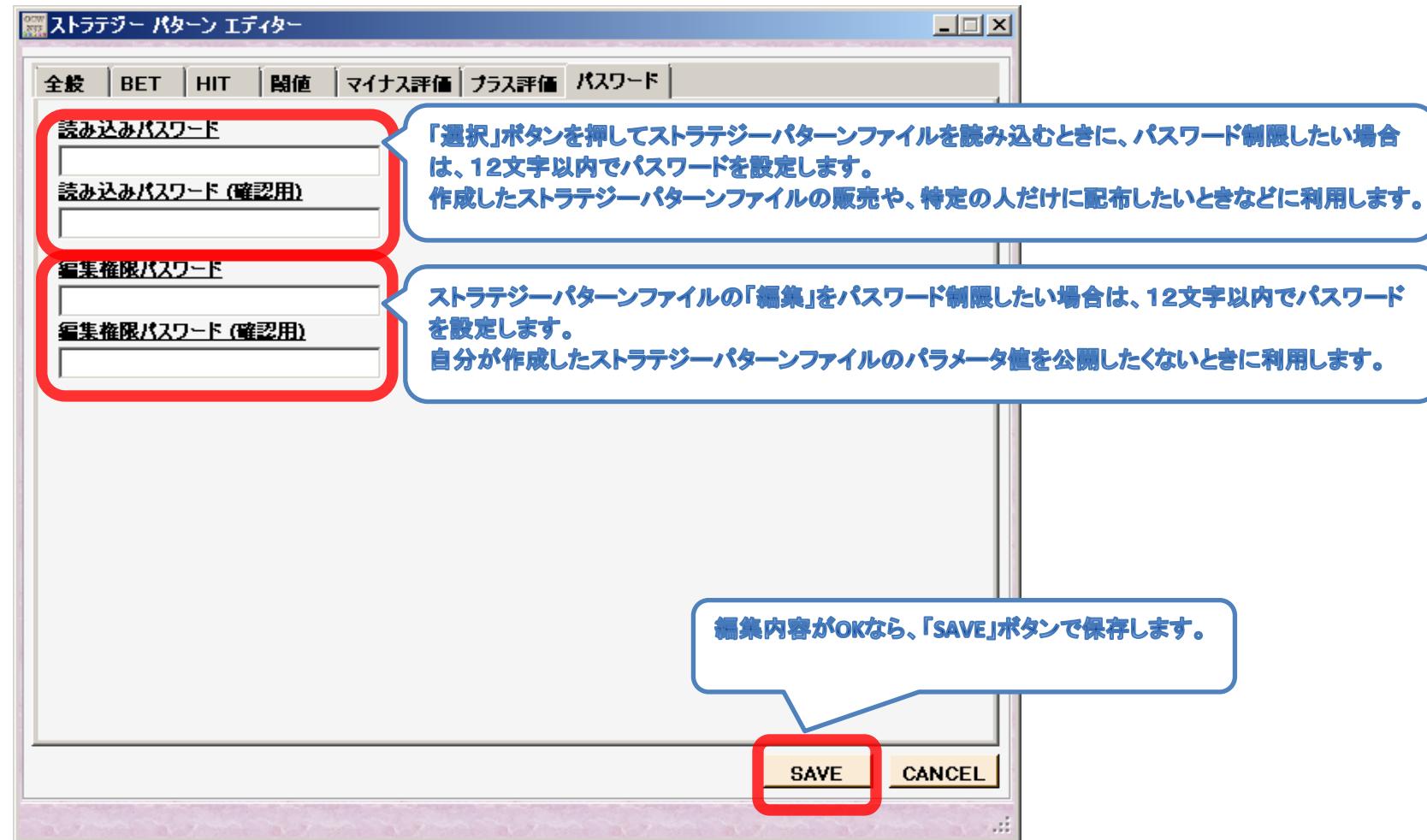
還元率、HIT発生率、スピニ数から、「絶不調」基準が連続発生するパターンをマイナス評価要因に加える場合は連続発生ターン数を、加えない場合は0を設定します。

分析工程の主な流れは、最初に「閾値(しきい値)」の各基準値から評価基準点が導きだされ、次に、「マイナス評価」の分析結果の点数が減点され、最後に、「プラス評価」の分析結果の点数が加算されます。画面上の判定結果の表示は、全ての分析工程の結果をもとに推測された内容となります。

(8) プラス評価タブの項目を編集する。



(9) パスワードタブの項目を編集する。



(10) 各分析手法について

マイナス評価要因とプラス評価要因で利用している一般的な分析手法がどのようなものかの概要を以下に説明します。

※OCWinner2012では、「統計分析の知識がなくても誰でも簡単に利用できること」を目的としているため、分析手法の実装方法や応用方法に関する詳細説明は省かせて頂きます。

ロジスティック回帰分析	医療、社会、金融などの分野で活用されている分析手法です。 本システムでは、主に信用リスクの分析手法を応用して利用しています。
線形回帰分析	回帰分析手法の基本の1つです。様々な分野で利用されています。 IT分野では、広告効果測定などで応用されています。
判別分析	パターン認識システムなどで有効な分析手法の1つです。
コレスポンデンス分析	クロス集計値をもとにマッピングして分析する手法です。 企業イメージの評価や、経営分析などでも応用されています。
分散分析	品質管理に向いている分析手法です。 医療や農業をはじめとする、品質管理が重要な分野で応用されています。
多次元尺度分析	似ているものと似ていないものを分類する分析手法です。 市場動向調査や国政調査などで利用されています。
ブロックランダム化分析	臨床試験などで利用される分析手法です。
一元配置分散分析	3つ以上の平均値の差から1つの関係性を見つけ出す分析手法です。 EXCELのマクロでも簡単に組める、汎用的な分析手法です。
ベイズ推定分析	実測値から分析項目を推定する方法で、ベイズ統計学の主な分析手法です。 IT分野では、迷惑メールフィルターなどで利用されています。
クラスター分析	カテゴリーごとに分類して分析する手法です。 市場調査やマーケティングでの利用のほか、IT分野ではFEPの漢字変換候補や翻訳システムなどでも利用されています。
最尤法分析	特定パターンになる確率が高くなるようにデータ分布を決める基本的な手法です。 成分分析や、暗号解読のアルゴリズムなどで利用されています。

2. 自分好みのスロット機種に合わせたストラテジーパターンを作成する

SYSTEM提供のストラテジーパターンは、できるだけ機種依存しない汎用的な設定値で検証＆調整されていますが、スロットの機種によっては、「浮き沈みの波」のパターンに大きな差異が発生するため、特定のスロットに限定した専用ストラテジーパターンを作成することで、分析(判定)精度をさらに高めることができます。

以下、特定の機種向けに各パラメータ値を調整する手順を解説します。

(1) SYSTEM提供のストラテジーパターンの「RA」または「PA」でプレイしたデータを集める。

- ①リスク軽減の分析精度を上げるためにには、よりベストなポイントで「STOP判定」を出せる必要があります。
- ②利益拡大の分析精度を上げるためにには、よりベストなポイントで「勝ち逃げ推奨ポイント」を出せる必要があります。

これらを判断するためには、まず標準のSYSTEM提供ストラテジーパターンをベースにして、「STOP判定」や「勝ち逃げ推奨ポイント」を無視してプレイ続行した時に「良い結果になったパターン」のデータが必要です。このデータをできるだけたくさん集められるほど、より分析精度の高いストラテジーパターンファイルが作成可能となります。

とはいっても、時間やお金の都合もあると思いますので、まずは無理のない範囲で、特定スロットのデータだけ集めてみてください。
※以降の説明は、GreatBlueという機種で実際に集めたデータを使って調整する例を説明していきます。

(2) パラメータ調整用に集めたデータをOCWinner2012で読み込んで還元率チャートを表示します。



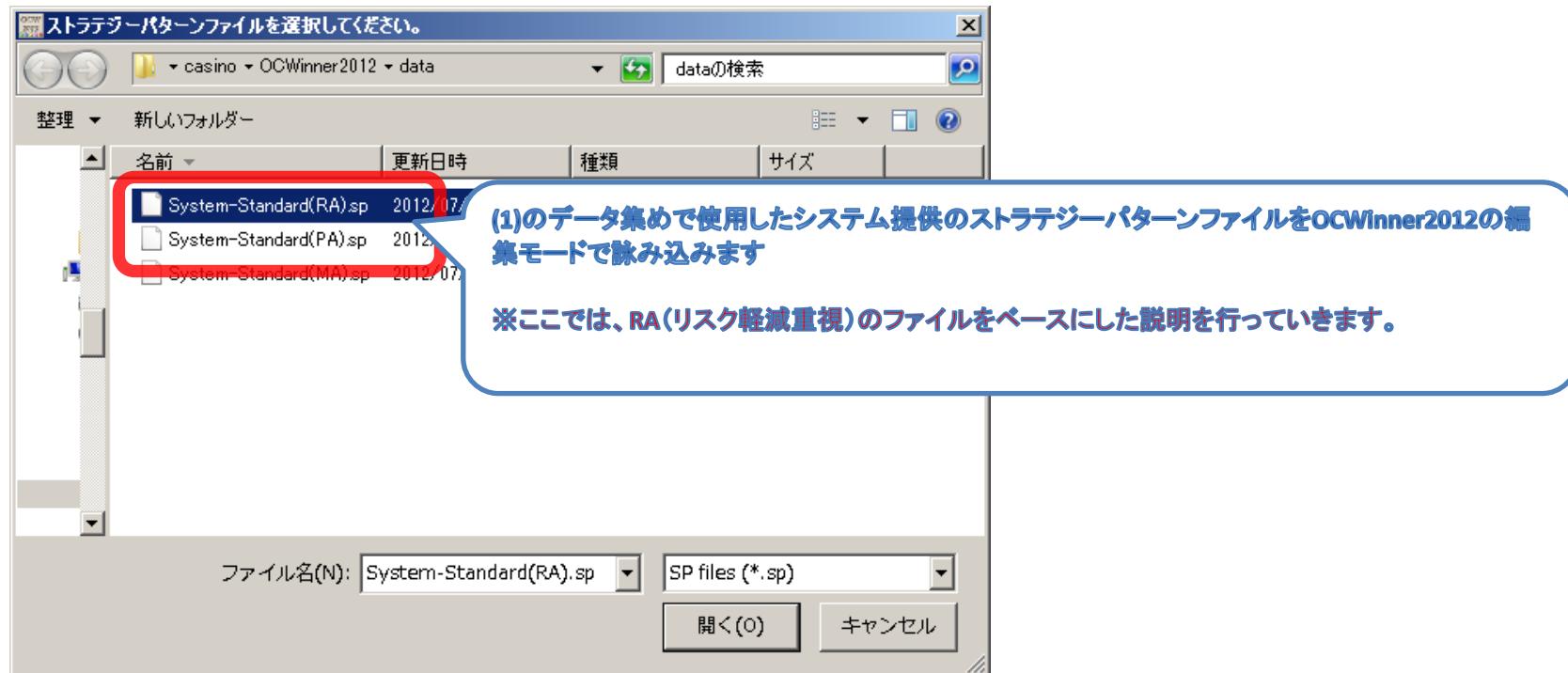
これはGreatBlueというスロットを、SYSTEM提供のRAパターンを使用し、\$0.25の賭け額で最終的に\$68.49プラスになった実測データです。少しあまりわからずらいかも知れませんが、RAパターンでは、最初の40～60スピンの3ターンで、すでに「STOP判定」が表示されています。次に、70回転(7ターン)目の判定で、初回大当たりがきて、すぐに「勝ち逃げ推奨ポイント」が表示されています。

ところが、その後の580回転と900回転ぐらいで大当たりを引き、利益が大きく拡大しています。
500スピン以内の短時間プレイで終了する前提であれば、初回のSTOP判定は妥当なものと言えますが、1000スpin以上の長時間プレイを前提とする場合は、理想的な分析結果とは言えません。

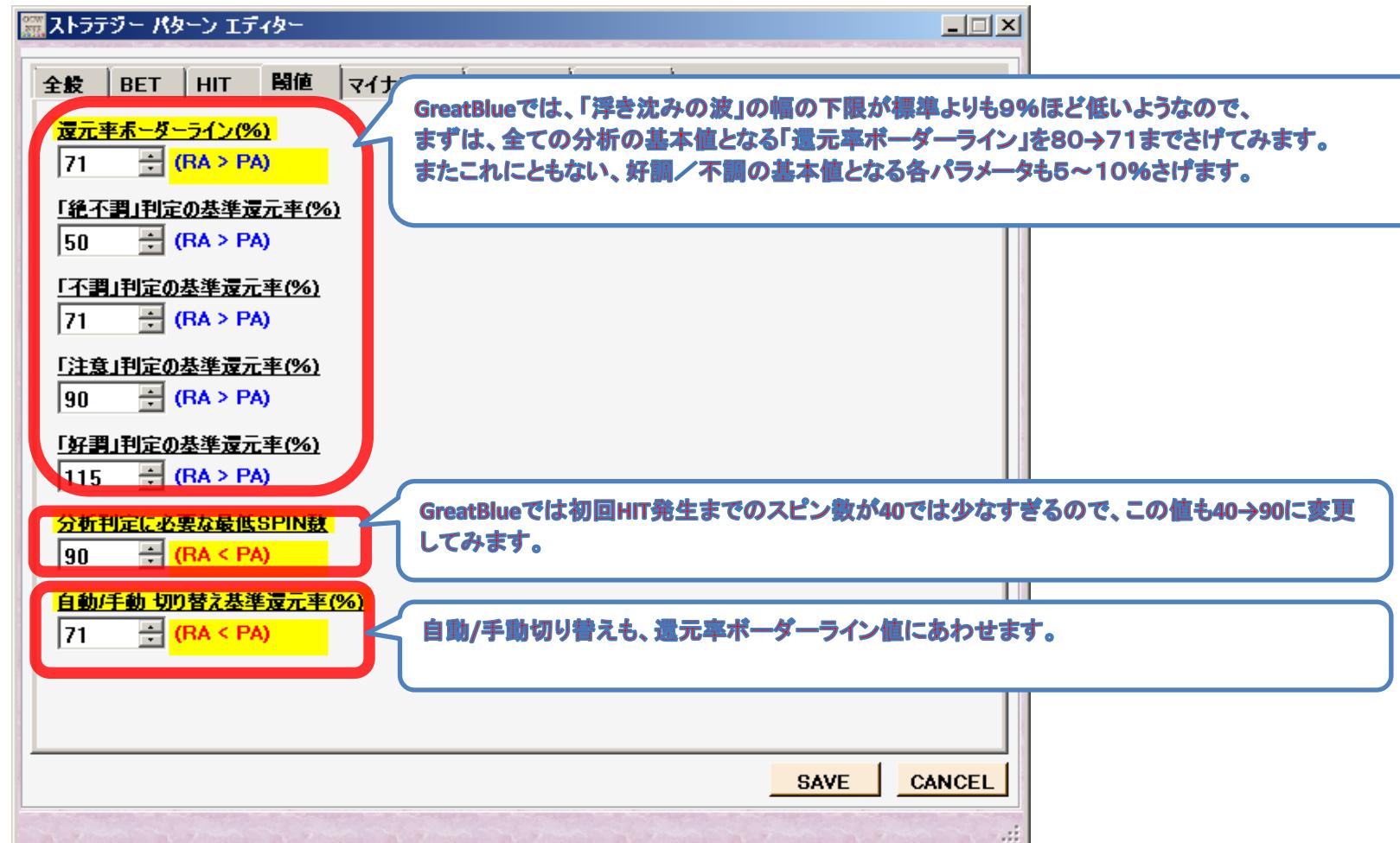
つまり、このデータの判定結果が、「理想的な分析結果」になるためには、序盤はできるだけSTOP判定や勝ち逃げ判定を出さずに、580回転か900回転あたりで「勝ち逃げ推奨ポイント」が出せるとベストです。

そこで次のステップでは、このデータから「理想的な分析結果」が得られるように、ストラテジーパターンの各パラメータ値を調整していきます。

(3) 編集ベースとなるストラテジーパターンファイルを読み込む。

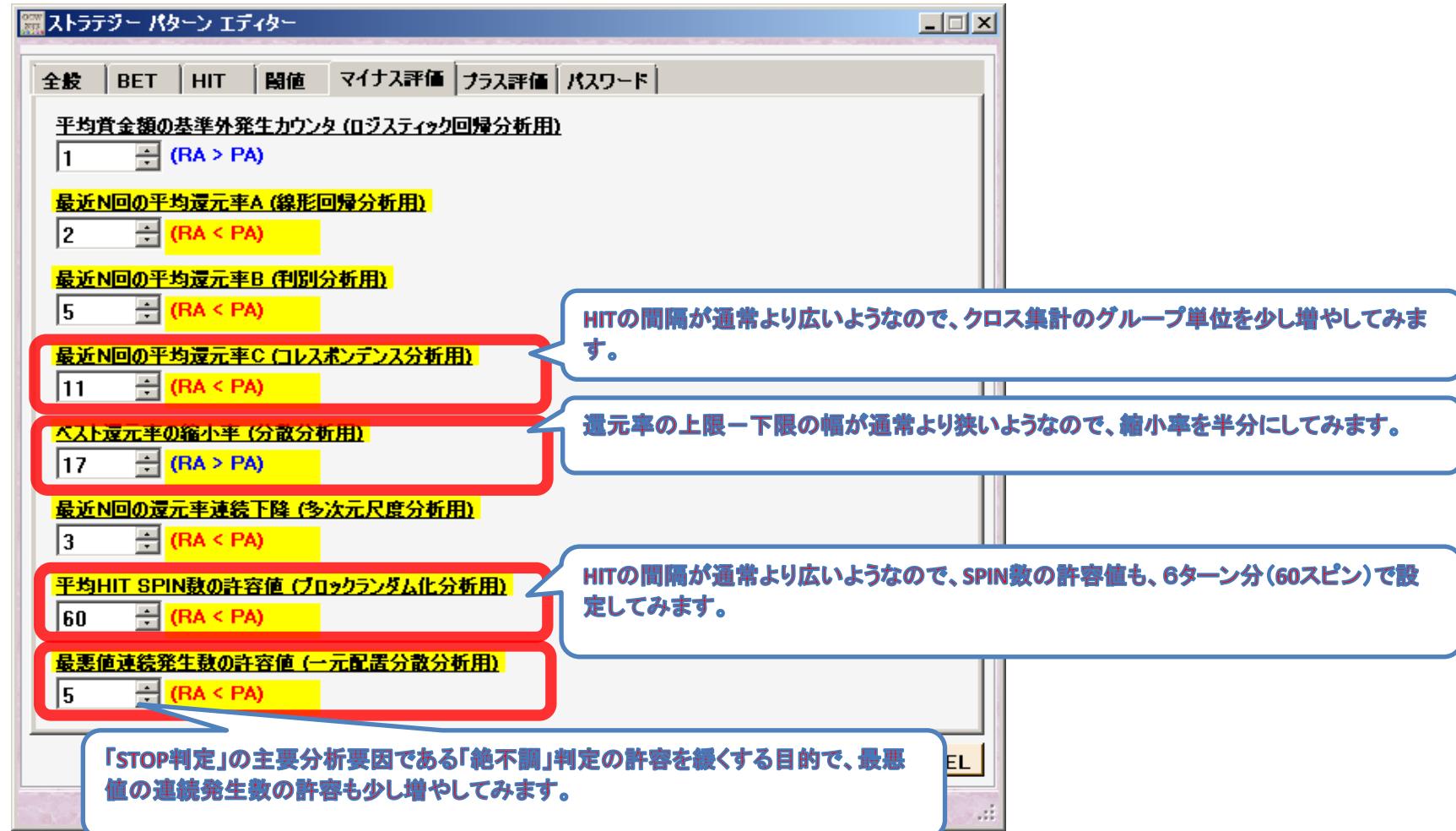


(4)機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(閾値タブ)

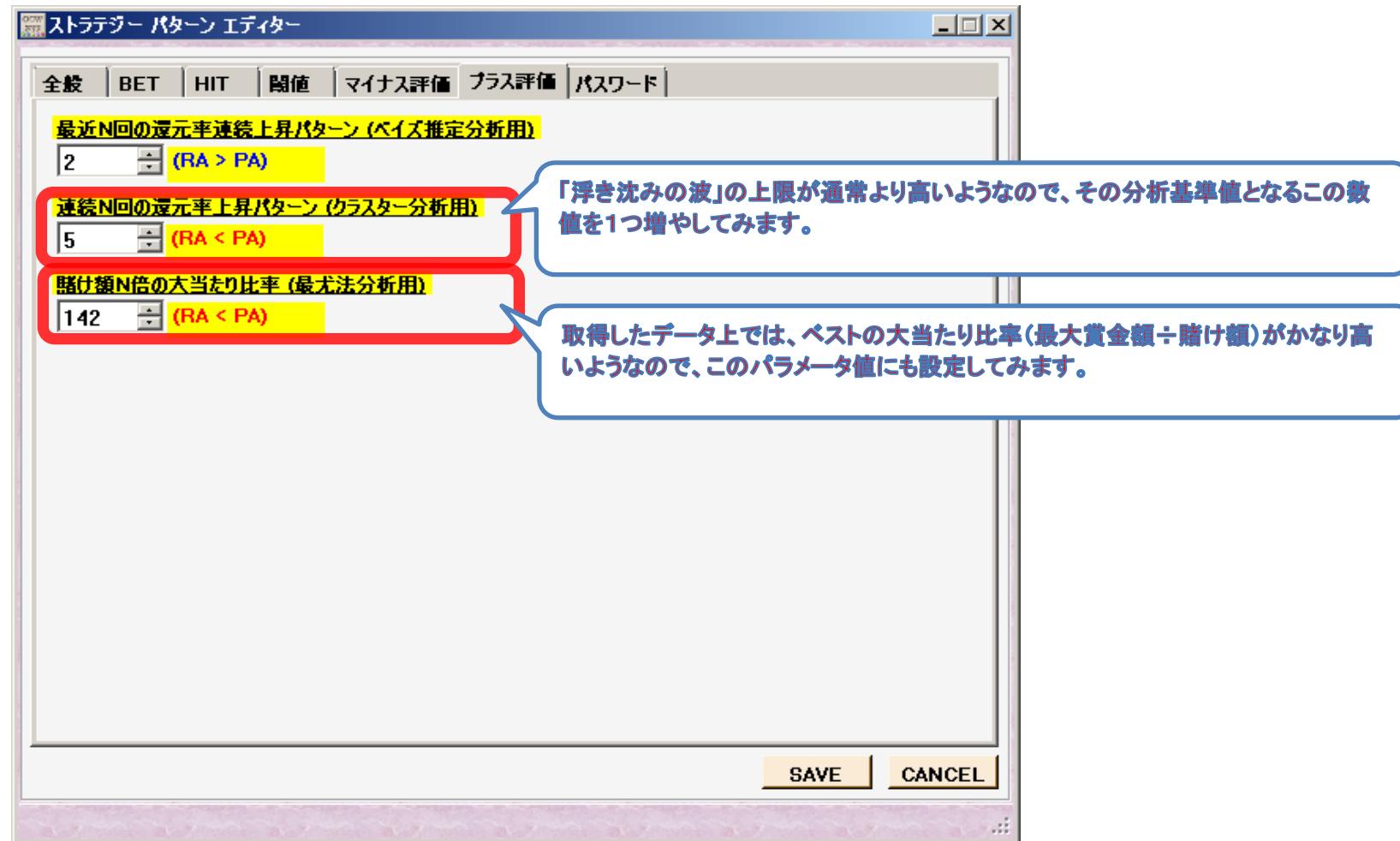


「機種依存パラメータ値」とは、
スロット機種ごとに理想的な設定値が異なる可能性の高いパラメータ値です。
パラメータ説明のタイトル背景色が「黄色」で表示された項目がこれにあたります。

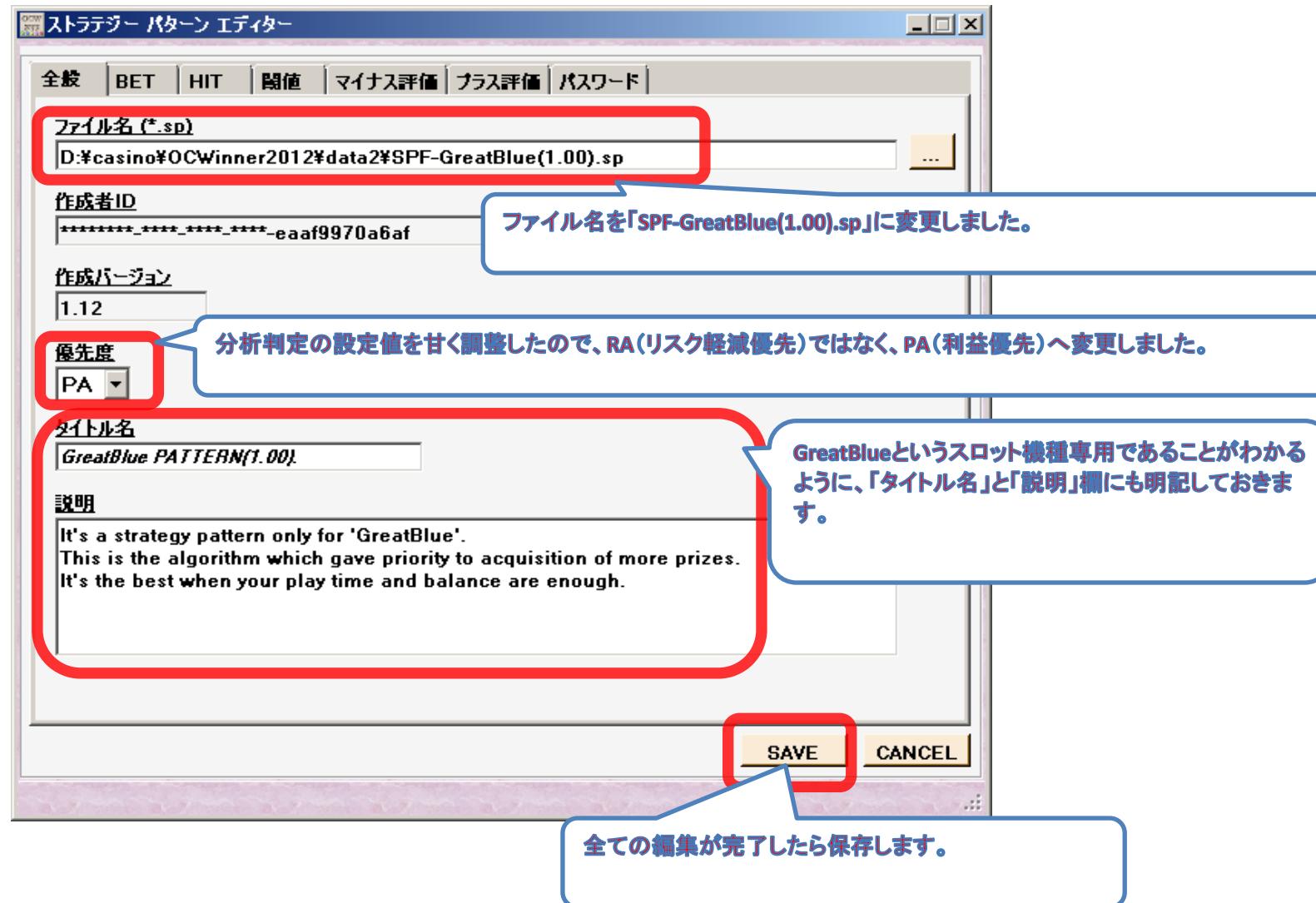
(5)機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(マイナス評価タブ)



(6) 機種依存パラメータ値を中心に設定を変更する。(プラス評価タブ)

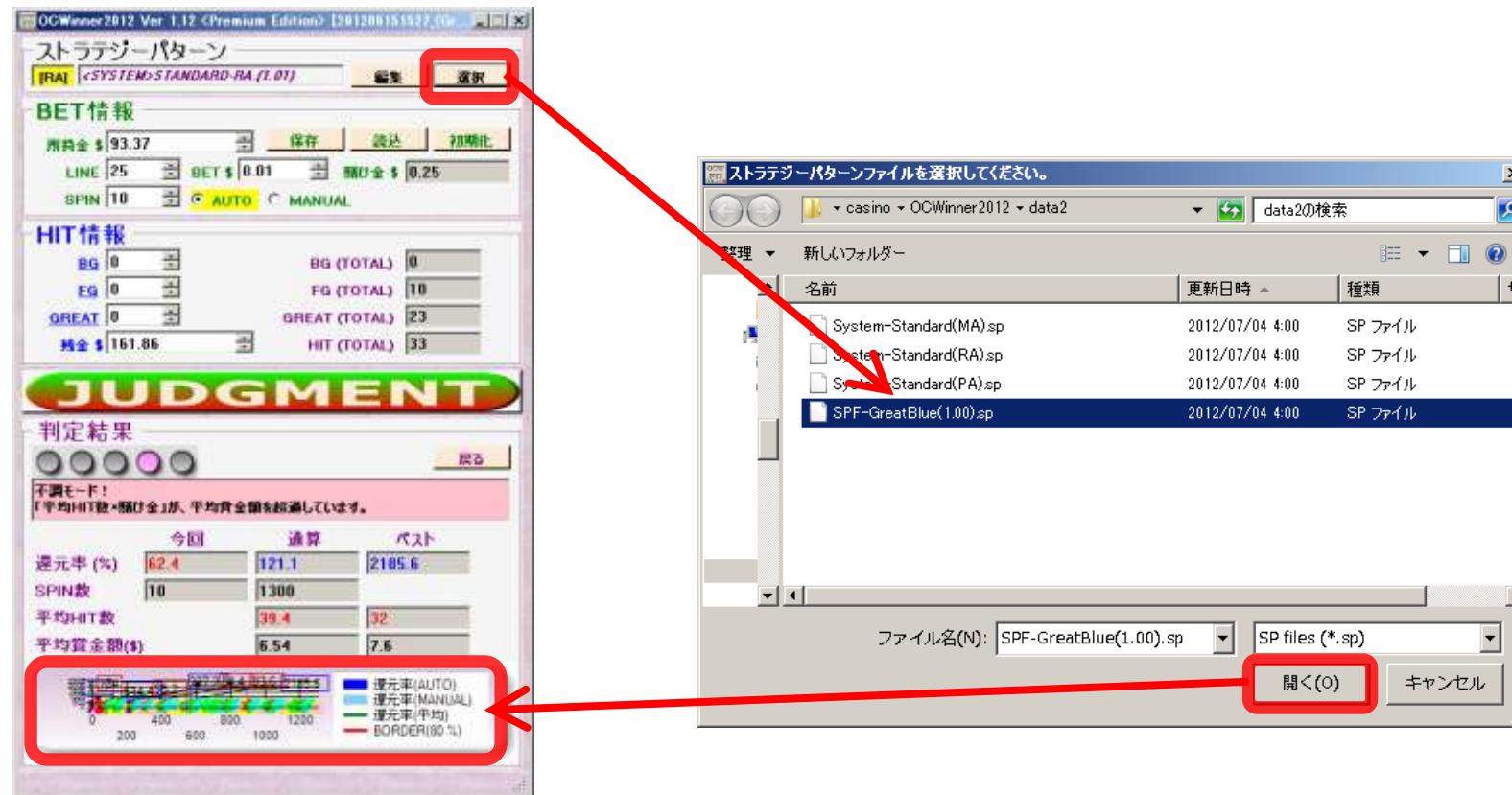


(7) パラメータ値を変更したら、ファイル名を変更して保存します。

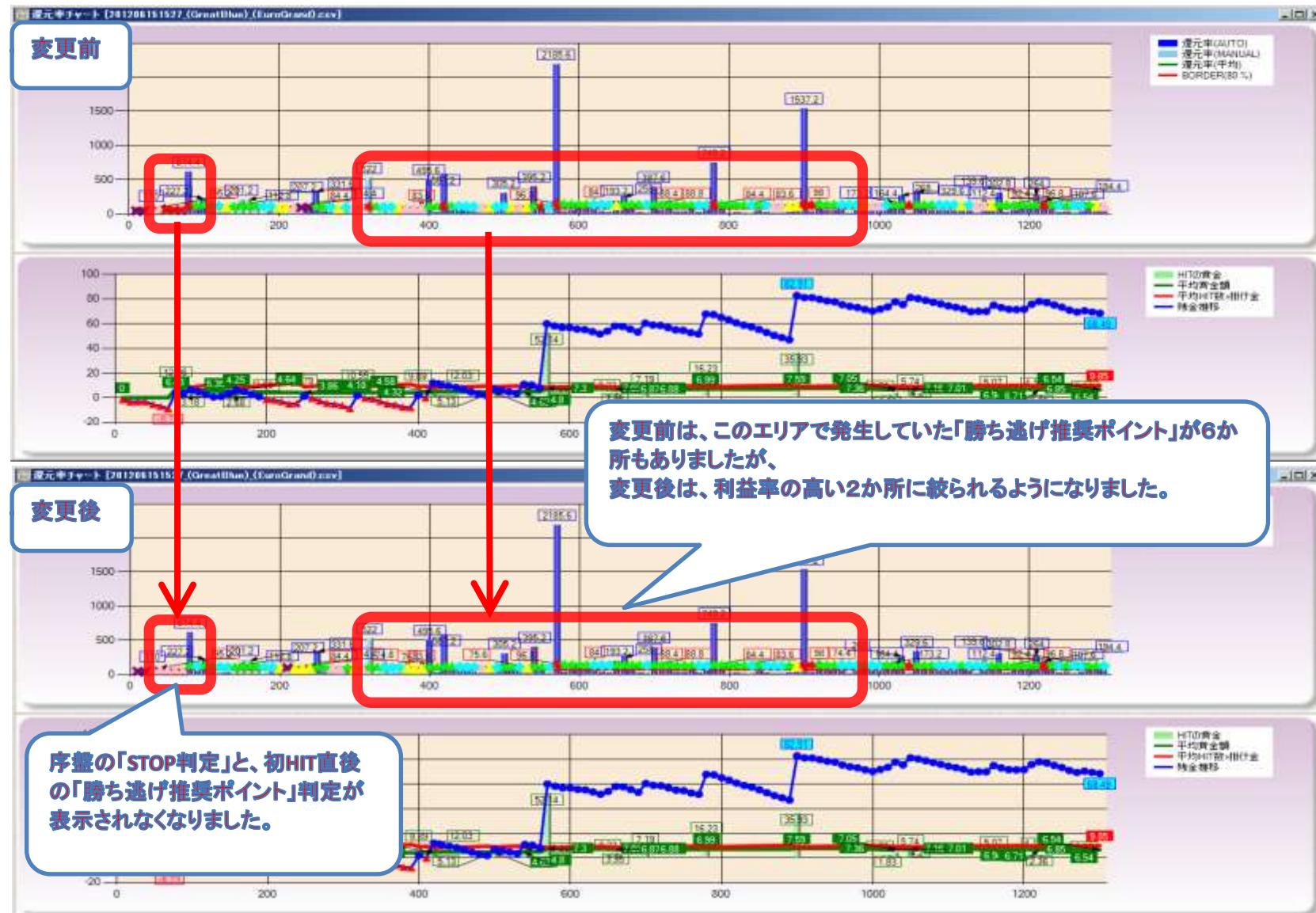


(8) さきほど作成した専用ストラテジーパターンファイルを「選択」ボタンで読み込んで、「還元率チャート」で再評価の結果を確認します。

※ストラテジーパターンを切り替えると、判定結果は自動的に再評価されます。



(9) パラメータ値の変更前と変更後の評価結果を比較します。



(10) 分析精度をさらにアップさせる。(データマインニング)

(1)～(9)のデータマインニングを繰り返すほど、分析精度はアップしていきます。

ただし、統計分析というのは理想に近い判定結果に近づけることはできても、唯一の答えを見つけることはできません。

より高精度なストラテジーパターンを目指してチューニングし続けることも、プレイの楽しみの1つと考え、楽しくデータマインニングして頂ければ幸いです。

3. 自作のストラテジーパターンファイルを公開(販売)する

スロット攻略のBLOGやメルマガ、Twitterなどを運営(配信)されている方であれば、より判定精度の高いストラテジーパターンファイルを公開することで、サイトのファンを増やすことが可能です。

また、サムライクリック やカジノサイトと直接提携されているゲーミングアフェリエイトサイトを運営されている方であれば、OCWinner2012の利用を通して、オンラインカジノサイトへの参加率UPにつなげることが可能です。
(ゲーミングアフェリエイトとは、一度の紹介で永久に報酬が得られるタイプのアフェリエイトです)

サムライクリック : <http://www.samuraidclick.com/>

また、ストラテジーパターンのチューニングには、判定結果を無視して投資し続けるという金銭的リスクが伴いますので、手間/暇をかけてデータマインニングしたストラテジーパターンファイルであれば、有料で公開する価値も十分あると思います。

ダウンロード販売のみであれば、Gumroad、Ameroadなどのデジタルコンテンツ簡易販売サイトを利用すれば、面倒な手続きなしで、誰でも簡単に販売URLの登録が可能です。

Gumroad : <https://gumroad.com/>
Ameroad : <http://ameroad.net/>

なお、ストラテジーパターンファイルを公開(販売)される場合は、転売防止のため、読み込みパスワードと編集パスワードを必ず設定することをお勧めいたします。